

施策マネジメントシート(2019年度の振り返り、総括)

作成日 2020 年 6 月 15 日

基本目標	V	地域をささえるひとづくり	主管課	名称 町民福祉課 課長 松井田 順一
施策	24	平和と人権の尊重	関係課	生涯学習課 生涯学習係

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
町民		平和や人権への意識を高め、お互いを尊重する。	1 人権意識の高揚	町民	人権についての正しい理解と認識を深め、意識を高める。
			2 相談・保護体制の強化	人権侵害を受けた人	人権に関するトラブルや悩みを解決できる。
			3 男女共同参画の推進	町民	自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる。
			4 平和意識の高揚	町民	平和への意識を高める。

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 町民の人権に対する意識を高めるとともに、相談・保護体制を強化することで、人権侵害の軽減を図ります。 男女が互いにその人権を尊重しつつ、性別にとらわれずあらゆる分野において個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指します。 核兵器廃絶平和の町として、平和の問題を町民の身近な問題としてとらえられるようメッセージを発信していきます。
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	過去1年間に、人権侵害を受けた町民の割合	%	実績値	5.3	4.7	4.3
			目標値		5.3	5.2	5.2	5.1	5.1	5.0
B	全ての核兵器を速やかに廃絶すべきだと感じている町民の割合	%	実績値	87.2	87.4	88.2	88.8			
			目標値		90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
C			実績値							
			目標値							
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 数値が低くなれば、人権への意識が高まり、お互いを尊重しているといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※過去1年間に、差別や虐待、名誉毀損などの人権侵害を受けたことがありますか。→「はい」と回答した人の割合</p> <p>B) 町として、「核兵器廃絶平和の町宣言」を行っており、宣言の中で「私たちは、すべての核兵器の速やかな廃絶を求め、真の恒久平和が実現することを願い、」としているため、成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※全ての核兵器を速やかに廃絶すべきであると感じていますか。→「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合</p>
-------------------	--

目標値設定の考え方	<p>A) 2016年度以前の実績から成り行きでは5.3%となるが、人権啓発を充実させ、2022年度は5.0%を目標とする。 B) 2016年度以前の実績から成り行きでは毎年0.2%の減となるが、平和式典・戦没者追悼式を充実させ、2022年度は90%を目標とする。</p>
-----------	--

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<ul style="list-style-type: none"> 平和や人権を身近に感じ、意識を高める。 町民がお互いに尊重しあい、思いやる意識を高める。 性別にかかわらず、社会のあらゆる分野における活動に参画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平和や人権に関する啓発活動を学校や生涯学習の場で行う。 性別にかかわらず、社会活動に参画し、活躍できる環境をつくる。 児童や高齢者、障害者などへの虐待の実態を把握し対策を講じる。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	<ul style="list-style-type: none"> 戦後70年以上経過し、戦争を知る世代が高齢化している中で、町主催の「平和式典・戦没者追悼式」を毎年行っているが、年々参加者が減少している。 児童や高齢者、障害者などへの虐待に対する認識が広まる。 性的少数者に対する理解が進む。 	<ul style="list-style-type: none"> 遺族会会員が亡くなると、子・孫がいても戦没者との関係が遠いので脱退を希望する人が多い。 平和の尊さと戦争の悲惨さを次世代に伝えていくために、戦争に関する報道写真などを展示する等の企画をしてはどうか。

施策	24	平和と人権の尊重	主管課	名称	町民福祉課
				課長	松井田 順一

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①過去1年間に人権侵害を受けた町民の割合は4.3%で前年度と同じである。 ②全ての核兵器を速やかに廃絶すべきだと感じている町民の割合は平成28年度87.2%から年々増加している。令和元(平成31)年度は88.8%であり、前年度より0.6ポイント増加した。
	② 他団体との比較	<input checked="" type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①内閣府の「人権に関する世論調査(平成29年12月:調査は5年毎)」によると「今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがある住民の割合」は15.9%となっている。町の町民アンケートによる人権侵害を受けたことがあると答えた割合は平成30年度4.3%、令和元(平成31)年度も4.3%であった。 ②町独自のアンケート調査のため、他団体との比較は難しい。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①今年度の人権侵害を受けた町民の割合は目標値5.2%に対し、実績値4.3%で目標を上回った。 ②全ての核兵器を速やかに廃絶すべきだと感じている町民の割合の目標値は90.0%に対し、実績値88.8%で目標を下回った。

	基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
					1	人権意識の高揚	A 人権講演会参加者数	人	実績値	80	296
				目標値		200	200	200	200	200	200
		B		実績値							
				目標値							
2	相談・保護体制の強化	A 人権に関する相談件数	件	実績値	28	13	17	24			
				目標値		29	30	31	32	33	34
		B		実績値							
				目標値							
3	男女共同参画の推進	A 審議会・委員会等における女性登用率	%	実績値	14.4	16.7	17.2	20.6			
				目標値		17.0	19.6	22.2	24.8	27.4	30.0
		B		実績値							
				目標値							
4	平和意識の高揚	A 平和式典・戦没者追悼式参加者数	人	実績値	140	123	129	112			
				目標値		140	140	140	140	140	140
		B		実績値							
				目標値							

	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)	
			1	人権意識の高揚
2	相談・保護体制の強化	相談窓口の更なる連携及び相談員の知識の向上	関係部署や関係機関との連携において、何らかの措置が急務の場合に対応できるよう研修会や勉強会等の積極的な活用によって対策を強化する。	
3	男女共同参画の推進	女性登用率は徐々に高くなっている。圏域では高い水準になったが、目標値を目指し女性の登用を行う必要がある。	各種審議会・委員会に対して、女性の登用を積極的に行うよう事務局に働きかけを継続して行っていく。	
4	平和意識の高揚	①先の大戦を知らない世代が大半となっており、戦争を伝える活動が大切になっている。 ②式典の参加者が年々減少している。	①平和式典及び戦没者追悼式の開催において、平和への思いの作文、折り鶴の作成について、中学校の統合までの間は4校の生徒により行いたい。 ②遺族会と連携して、より多くの人に参加してもらえ、式典を検討する。	

24_平和と人権の尊重

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000001	人権啓発講演会事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	282,740 円			
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重	人権に関する町民の意識を高めるため、人権啓発講演会等を開催し人権意識の高揚に努める。	特になし	事業実績				
	基本事業	01	人権意識の高揚			講演会参加者数				
根拠	無	組織	町民福祉	課	窓口・医療	係				
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	3	項	1	目	1
								平成30年度	令和元年度	単位
								200	210	人

令和 元 年 8 月 17 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000002	人権教育推進協議会運営事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	42,701 円			
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重	みなかみ町人権教育推進協議会(社会教育委員)の運営及び各種研修会等への参加、人権に関するポスターの展示や人権啓発に関する講話などを行い、人権教育の情報発信や学習機会を提供することによって、人権教育の啓発・振興に努める。	町内小中学生を対象に「人権に関するポスター」を募集し、町民福祉課と合同行事の席上で表彰式を行うことができた。また、一般参加者に人権を考えてもらう機会を提供できた。	事業実績				
	基本事業	01	人権意識の高揚			人権ポスターの応募者数				
根拠	無	組織	生涯学習	課	生涯学習	係				
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	1
								平成30年度	令和元年度	単位
								49	64	人

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000001	心配ごと相談・法律相談事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	465,833 円			
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重	町民の福祉増進を図ることを目的として心配ごと相談・法律相談事業を実施している。なお、心配ごと相談所の開設運営については、社会福祉協議会に委託している。	-	事業実績				
	基本事業	02	相談・保護体制の強化			相談件数				
根拠	無	組織	町民福祉	課	障害・福祉	係				
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	3	項	1	目	1
								平成30年度	令和元年度	単位
								30	34	件

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000002	人権擁護委員事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	105,600 円			
施策体系	施策	24	平和と人権の尊重	前橋地方務局沼田支局管内の人権擁護委員で構成されている沼田人権擁護委員協議会へ負担金を支出している。同協議会は町内の小中学校で人権教室、特設人権相談所や心配ごと相談所などの相談業務、また町が主催で行う人権啓発講演会で啓発活動をしている。	特になし	事業実績				
	基本事業	02	相談・保護体制の強化			開催回数(会議・研修会)				
根拠	無	組織	町民福祉	課	窓口・医療	係				
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	3	項	1	目	1
								平成30年度	令和元年度	単位
								7・4	6・4	回

24_平和と人権の尊重

令和 元 年 7 月 31 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業		000001		日本非核宣言自治体協議会参画事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		20,000 円			
施策体系	施策	24		平和と人権の尊重		日本非核宣言自治体協議会に参加し、核兵器の廃絶、平和宣言を呼びかけるとともに、自治体間の協力体制を確立する。				事業実績					
	基本事業	04		平和意識の高揚						会員自治体数・宣言自治体数					
根拠		有	組織	総務 課		総務 係		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		平成30年度	令和元年度	単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	3	項	1	目	1	課題なし		330・1632	341・1647	団 体・ 団体

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 17 日更新)

事務事業		000002		遺族会活動支援事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		307,916 円			
施策体系	施策	24		平和と人権の尊重		みなかみ町に居住する戦没者遺族の会の運営。靖国神社、県護国神社の参拝に関する遺族の援護、並びに福利に関するなどを主な事業としている。		特になし		事業実績					
	基本事業	04		平和意識の高揚						県戦没者追悼式の参加人数					
根拠		無	組織	町民福祉 課		障害・福祉 係		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		平成30年度	令和元年度	単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	3	項	1	目	1	遺族の高齢化等による町遺族会員の減少		11	14	人

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 17 日更新)

事務事業		000003		平和式典・戦没者追悼式事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		211,403 円			
施策体系	施策	24		平和と人権の尊重		戦争により犠牲になられた方々への哀悼の意をあらためて表すと共に、平和の尊さを次世代に伝えるために実施する事業。		千羽鶴の作成が少しでも楽になるように、折り紙を大きくした(7.5cm→15cm)。結果、鶴を折りやすくなった。		事業実績					
	基本事業	04		平和意識の高揚						式典参加者数					
根拠		無	組織	町民福祉 課		障害・福祉 係		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		平成30年度	令和元年度	単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	3	項	1	目	1	遺族の高齢化等により、式典に参加する人数が減少。千羽鶴作成依頼先の、町内中学校では、生徒減少により負担となっている。		129	130	人

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 8 月 20 日更新)

事務事業		000004		慰霊参拝費補助事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		0 円			
施策体系	施策	24		平和と人権の尊重		「先の大戦」の記憶が風化しつつある中で戦没者遺族の青少年が我が国・唯一の激戦地となった沖縄を訪れるための費用の3分の1を町が負担する。				事業実績					
	基本事業	04		平和意識の高揚						支給件数					
根拠		有	組織	町民福祉 課		障害・福祉 係		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		平成30年度	令和元年度	単位	
事業期間	期間限定		会計	1	款	3	項	1	目	1	課題なし		0	0	件

24_平和と人権の尊重

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業		000005		自衛官募集事業				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		71,000 円	
施策体系	施策	24		平和と人権の尊重				自衛官又は自衛官候補生の募集に関する広報宣伝や募集に関する事務を行う		特になし		事業実績			
	基本事業	04		平和意識の高揚								② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策	
根拠	無	組織	町民福祉		課		窓口・医療		係		平成30年度		令和元年度	単位	
事業期間	継続事業		会計		1	款	3	項	1	目	1	2	2	人	
限られた時間で効率的に事務を行うため、事務事業の行動計画をつくる。										特になし					

令和 元 年 8 月 9 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

事務事業		000006		忠霊塔公園管理運営事業				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		130,371 円	
施策体系	施策	24		平和と人権の尊重				都市公園(S51年9月告示、街区公園)に係る維持管理事業である。		湯原区にに維持管理を委託した。		事業実績			
	基本事業	04		平和意識の高揚								② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策	
根拠	有	組織	地域整備		課		都市計画		係		平成30年度		令和元年度	単位	
事業期間	継続事業		会計		1	款	8	項	4	目	4	1	2	箇所	
湯原区に公園全体の管理を委託する。										適正な維持管理を依頼する。					